

### ③ 農山漁村振興交付金のうち山村活性化対策

## 小径広葉樹を活用した新たな経済循環の創造

#### 取組成果

- ◆ 広葉樹材を使った付加価値の高い製品を開発・販売。商品開発段階からクリエイター等の外部人材と積極的な関係性を築くことで受注機会を創出するとともに、独自性の高い取組を全国へ発信し、交流・関係人口の増加にも寄与。
- ◆ 地域資源として森林と広葉樹に再度光を当て伐採から製材、商品開発、製造・販売までを一貫して地域内で行う「広葉樹活用プラットフォーム」の構築に向けて、広葉樹材ストック確保、人材育成、商品開発等を実施することにより、川上から川下までの広葉樹流通の確立に貢献。

#### 事業概要

- ◆ 実施地：岐阜県飛騨市
- ◆ 事業実施主体：飛騨市
- ◆ 主な取組団体等：広葉樹のまちづくり円卓会議、(株)飛騨の森でクマは踊る、ひだ木フトプロジェクト
- ◆ 事業実施年度：H29～R1

#### 取組のポイント

- ◆ 飛騨市は93.5%の森林のうち、68%を広葉樹天然林が占めるという特徴があるが、平均胸高直径が26cm程度で、多くはパルプ・チップや薪にしかならず、家具等に使うことができない状況。
- ◆ 山側では価値ある広葉樹を育てるとともに、需要側では広葉樹小径木の新しい価値を創造するなど、川上から川下にかかる取組を推進。

#### 取組内容

##### 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 人材育成目的としたスイスのフォレスターによる「天然林施業研修会」を開催。
- ◆ 通常チップにしかない小径広葉樹の積極搬出により安定的なストックを確保し、木工職人等が活用できる仕組みを整備。



【スイス・フォレスターによる研修会】

##### 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 市内木工作家等の作り手と連携し、小径広葉樹材を使った新たな商品開発及び販売を進める「ひだ木フトプロジェクト」を展開。
- ◆ 取組を全国に伝え、市外の関係者（主に広葉樹の使い手）との新たな関係性をつくる「広葉樹のまちづくりツアー」を開催。



【ひだ木フトプロジェクト小径材による商品群】